

第56回技能五輪全国大会について

1 大会概要

技能五輪全国大会は、青年技能者に努力目標を与え日頃の鍛錬の成果を競い合うことで、若年層の技能の向上を図るとともに、広く国民に技能の重要性・必要性をアピールし、技能尊重気運の醸成に資することを目的に、昭和38年から毎年開催されています。

2018年度(平成30年度)に開催する第56回技能五輪全国大会は、沖縄県的那覇市民体育館など15会場において、42職種で原則23歳以下の青年技能者が技能レベル日本一を競います。

また、来年8月にロシア連邦・カザンで開催される第45回技能五輪国際大会へ日本代表として派遣される選手の選考会も兼ねています(一部の職種を除く。)

2 主催

厚生労働省、中央職業能力開発協会、沖縄県

3 共催

那覇市、宜野湾市、浦添市、沖縄市、豊見城市、うるま市

4 後援

文部科学省、経済産業省、国土交通省、都道府県(沖縄県を除く。)、都道府県職業能力開発協会、一般社団法人全国技能士会連合会、一般社団法人日本経済団体連合会、一般社団法人日本産業訓練協会、NHK、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構、職業能力開発総合大学校、全国専修学校各種学校総連合会、全国中小企業団体中央会、全国農業高等学校長協会、株式会社日刊工業新聞社、日本商工会議所、日本労働組合総連合会、公益社団法人全国工業高等学校長協会(順不同)

5 日程・開催地概要

11月2日(金)	開会式	奥武山公園(那覇市奥武山町45)
11月3日(土)	競技実施	那覇市民体育館など15会場 ※会場詳細は別紙2参照
11月4日(日)	競技実施	
11月5日(月)	閉会式	奥武山公園(那覇市奥武山町45)

※一部の職種は競技を先行して実施します。

6 参加資格

原則23歳以下の者で、都道府県ごとに実施される技能五輪予選大会で優秀な成績を収めた者、または優秀な技能を有すると認められる者として都道府県職業能力開発協会等から推薦された者

7 参加選手

1,292人

8 競技職種

42職種

機械系(9職種)	機械組立て、抜き型、精密機器組立て、機械製図、旋盤、フライス盤、木型、自動車工、時計修理
金属系(5職種)	構造物鉄工、電気溶接、自動車板金、曲げ板金、車体塗装
建設・建築系(10職種)	タイル張り、配管、石工、左官、家具、建具、建築大工、造園、冷凍空調技術、とび
電子技術系(5職種)	メカトロニクス、電子機器組立て、電気、工場電気設備、移動式ロボット

情報通信系(3 職種)	ITネットワークシステム管理、情報ネットワーク施工、ウェブデザイン
サービス・ファッション 系(10 職種)	貴金属装身具、フラワー装飾、美容、理容、洋裁、洋菓子製造、西洋料理、和裁、 日本料理、レストランサービス

9 表彰

【選手表彰】

成績優秀者には、金賞、銀賞、銅賞及び敢闘賞の賞状並びにメダルが授与され、各職種の金賞受賞者には、厚生労働大臣賞として楯が授与されます。

【選手団表彰】

最も成績が優秀である都道府県選手団（1団体）には厚生労働大臣賞として、成績が優秀である都道府県選手団（3団体）には、厚生労働省人材開発統括官賞としてそれぞれ賞状及び楯が授与されます。

また人材開発統括官賞に次ぐ成績を収めた都道府県選手団（6団体）については中央職業能力開発協会会長賞又は全国技能士会連合会会長賞として賞状及び楯が授与されます。